

| 研究事業名 | 研究課題 | 研究代表者 | 職名 | 研究課題名 |
|-------------|--|--------|-----|----------------------------------|
| 認知症対策総合研究事業 | 細胞を血行性脳実質内動員する機序の解析およびそのアルツハイマー病治療への応用 | 内村 健治 | 室長 | 国立長寿医療センター |
| 認知症対策総合研究事業 | アルツハイマー病の根本的治療薬開発に関する研究 | 道川 誠 | 部長 | 国立長寿医療センター |
| 認知症対策総合研究事業 | アルツハイマー病発症と進展の客観的評価法確立のための多施設縦断臨床研究：J-ADNI コアスタディ | 岩坪 威 | 教授 | 東京大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 生殖補助医療の医療技術の標準化、安全性の確保と生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証に関する研究 | 吉村 泰典 | 教授 | 慶應義塾大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 法制化後の小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究 | 藤本 純一郎 | 副所長 | 国立成育医療センター研究所 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 小児難治性先天異常症に対する幹細胞遺伝子細胞治療法の開発と臨床応用 | 小野寺 雅史 | 部長 | 国立成育医療センター研究所 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成 | 岡井 崇 | 教授 | 昭和大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 「周産期母子医療センターネットワーク」による医療の質の評価と、フォローアップ・介入による改善・向上に関する研究 | 藤村 正哲 | 総長 | 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター |
| 子ども家庭総合研究事業 | タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究 | 山口 清次 | 教授 | 国立大学法人島根大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 本邦における先天異常モニタリングの構築と外的・環境因子サーベイランスに関する研究 | 平原 史樹 | 教授 | 横浜市立大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 重症新生児に対する療養・療育環境の拡充に関する総合研究 | 田村 正徳 | 教授 | 埼玉医科大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究 | 齋藤 滋 | 教授 | 国立大学法人富山大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | わが国における新しい妊婦健診体制構築のための研究 | 松田 義雄 | 教授 | 東京女子医科大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 成育疾患のデータベース構築・分析とその情報提供に関する研究 | 原田 正平 | 室長 | 国立成育医療センター研究所 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 成育疾患における診断技術、治療法開発を目的としたポストゲノムプラットフォームの構築と応用—小児リウマチ性疾患、自己免疫疾患におけるマイクロRNAの機能解析と診断、治療への応用— | 浅原 弘嗣 | 部長 | 国立成育医療センター研究所 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 子どもの心の診療に関する診療体制確保、専門的人材育成に関する研究 | 奥山 眞紀子 | 部長 | 国立成育医療センター |
| 子ども家庭総合研究事業 | 全新生児を対象とした先天性サイトメガロウイルス（CMV）感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エビデンスに基づく治療指針の基盤策定 | 藤枝 憲二 | 教授 | 旭川医科大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 乳幼児突然死症候群（SIDS）における病態解明と臨床的対応および予防法開発とその普及啓発に関する研究 | 戸苅 創 | 教授 | 公立大学法人名古屋市立大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 胎児期から乳幼児期を通じた発育・食生活支援プログラムの開発と応用に関する研究 | 瀧本 秀美 | 室長 | 国立保健医療科学院 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 要保護児童における被虐待による問題や障害等の類型化された状態像とケアの必要量の相互関連に関する研究 | 筒井 孝子 | 室長 | 国立保健医療科学院 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究 | 池田 智明 | 部長 | 国立循環器病センター |

| 研究事業名 | 研究課題 | 研究代表者 | 職名 | 研究課題名 |
|----------------|--|--------|--------|-------------------------|
| 子ども家庭総合研究事業 | 地域における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究 | 岡村 州博 | 名誉教授 | 東北大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | ライフスタイルの変化に伴う妊娠希望時の妊孕性減弱に対する病態解明、新規診断法と治療法開発のための研究 | 齊藤 英和 | 医長 | 国立成育医療センター |
| 子ども家庭総合研究事業 | 健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用に関する研究 | 山縣 然太郎 | 教授 | 山梨大学 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 小児先天性疾患および難治性疾患における臨床的遺伝子診断の基盤整備 | 緒方 勤 | 部長 | 国立成育医療センター研究所 |
| 子ども家庭総合研究事業 | 女性生殖器における妊孕能の客観的な評価法の確立 | 吉野 修 | 特任研究員 | 東京大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 網羅的なゲノム異常解析に基づく多段階発がん過程並びに臨床病態の分子基盤の解明とその臨床応用に関する研究 | 横田 淳 | 部長 | 国立がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | ヒト多段階発がん過程におけるエピジェネティックな異常の網羅的解明と臨床応用に関する研究 | 牛島 俊和 | 部長 | 国立がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 疾患モデル動物を用いた環境発がんの初期発生過程及び感受性要因の解明とその臨床応用に関する研究 | 中釜 斉 | 副所長 | 国立がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 放射線障害に基づく固形がん発生の分子機構の解明とその予防・治療への応用に関する研究 | 安井 弥 | 教授 | 広島大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | ヒト腫瘍の発生・発育・進展に関わる分子病態の解析とその臨床応用 | 瀬戸 加大 | 副所長兼部長 | 愛知県がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | ゲノム情報に基づいた固体発生と発がん・進展に関連する新規遺伝子の同定およびその機能的意義の解明と臨床応用に関する研究 | 中川原 章 | 研究局長 | 千葉県がんセンター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | ゲノム・遺伝子解析情報に基づく診断・予防法開発及び分子標的探索と、免疫遺伝子治療の臨床開発に関する研究 | 吉田 輝彦 | 部長 | 国立がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | がん病理・病態学的特性の分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に関する研究 | 落合 淳志 | 部長 | 国立がんセンター東病院 臨床開発センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | ヒトがんで高頻度に変異・発現亢進・活性化している遺伝子を標的とした新たな治療法の開発に関する研究 | 北林 一生 | 部長 | 国立がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 難治性小児がんの臨床的特性に関する分子情報の体系的解析と、その知見に基づく診断治療法の開発に関する研究 | 清河 信敬 | 部長 | 国立成育医療センター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 血管新生とリンパ管新生の同時制御による制癌法の確立 | 佐藤 靖史 | 教授 | 東北大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | システム生物学的方法論による癌のバイオマーカー及び分子標的の探索 | 後藤 典子 | 准教授 | 東京大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究 | 武藤 倫弘 | 室長 | 国立がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | ウイルスを標的とする発がん予防の研究 | 神田 忠仁 | センター長 | 国立感染症研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度化に関する研究 | 中村 正和 | 部長 | 大阪府立健康科学センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 遺伝子不安定性の機能解析及び遺伝子変異推測モデルの構築による乳癌卵巣癌ハイリスクキャリアーの同定と発症予防法の確立 | 田中 憲一 | 教授 | 新潟大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 診断用機器および診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 森山 紀之 | センター長 | 国立がんセンターがん予防・検診研究センター |

| 研究事業名 | 研究課題 | 研究代表者 | 職名 | 研究課題名 |
|----------------|---|--------|------------------|---------------------------------|
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 消化器がん個別化医療におけるファンクショナルゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスの臨床応用と治療体制の確立 | 門田 守人 | 副学長 | 大阪大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 中山 富雄 | 課長 | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 新たな胃がん検診システムに必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 深尾 彰 | 教授 | 山形大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案 | 間野 博行 | 教授 | 自治医科大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 金子 安比古 | 研究所長 | 埼玉県立がんセンター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究 | 西條 長宏 | 特任教授 | 近畿大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 田村 友秀 | 部長 | 国立がんセンター中央病院 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 松村 保広 | 部長 | 国立がんセンター東病院 臨床開発センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 特異的細胞性免疫の活性化による新規がん治療の開発研究 | 葛島 清隆 | 部長 | 愛知県がんセンター研究所 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討 | 藤原 俊義 | 准教授・(副 センター長) | 岡山大学医学部・歯学部附属病院 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 増殖型ベクターと幹細胞のオリジナル技術による革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 小椋 健一郎 | 教授 | 鹿児島大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 江角 浩安 | 院長 | 国立がんセンター東病院 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | QOLの向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究 | 内富 庸介 | 部長 | 国立がんセンター東病院 臨床開発センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | がん生存者(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 山口 建 | 総長 | 静岡県立静岡がんセンター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究 | 濃沼 信夫 | 教授 | 東北大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データサービスや医療機関データサービスの構築に関する研究 | 若尾 文彦 | 医長 | 国立がんセンター中央病院 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究 | 高山 智子 | 室長 | 国立がんセンターがん対策情報センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 西本 寛 | 室長 | 国立がんセンターがん対策情報センター |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | その他、がんの実態把握とがん情報の発信等に関する特に重要な研究 | 黒川 清 | 代表理事 | 特定非営利活動法人 日本医療政策機構 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 手島 昭樹 | 教授 | 大阪大学 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 大腸内視鏡検査による大腸がん検診の有効性評価 | 工藤 進英 | 教授・副院長・ センター長 | 昭和大学横浜市北部病院 |
| 第3次対がん総合戦略研究事業 | 日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質向上と標準化を目指した調査研究 | 田中 英夫 | 部長 | 愛知県がんセンター研究所 |